

「TOTO水環境基金」の想いを込めた取り組み

想いを同じくするパートナーを探して

助成先団体の選考にあたっては、TOTOグループ社員から選出された選考員が応募団体の方と面談をし、「水環境にかかわる地域課題を地域の方々と共に解決したい」という想いを伝えています。そのうえで、応募団体の活動の詳細やどのような想いを持って活動されているのかを確認し、「地域に根ざした活動となりえるか」「一過性の活動ではなく、継続性があるか」という点を中心に選考を行い、想いを同じくする団体と活動をスタートします。

地域に根差した継続的な活動を支援

途上国では、水不足や劣悪な衛生環境により、数多くの人びとが命を落としています。また、環境保全、貧困、教育、ジェンダー平等の実現などの様々な課題を抱えています。このような途上国の抱える課題解決には、一時的な水まわり器具などの物資や資金などの提供だけではなく、維持や管理の仕組みを根付かせるために、継続的に現地を支え、衛生的な生活環境の重要性を伝えていく活動が欠かせません。

また日本国内において、地域の水とくらしの身近な課題解決に取り組む市民団体の活動は、水とくらしの関係を見直し、再生するのに重要な役割を担っています。

TOTO水環境基金は、このような活動を行う団体を支援することで、持続的な発展を目指しています。

地域の一員として共に課題解決に取り組む

TOTOグループでは、地球環境に貢献するボランティア活動を「グリーンボランティア」と称し、TOTO水環境基金助成先団体の活動にもグループ社員がボランティアとして参加することを奨励しています。2021年度はコロナ禍においても感染状況をみながら、社員が活動に参加してきました。また、助成期間終了後も、情報交換やボランティア参加などを通じ、助成先団体をはじめとする地域の皆様との交流は続いており、年々活動の輪が広がっています。さらに、助成先団体のネットワークづくりを目的として、「助成先団体交流会」を毎年開催しています。一昨年から、オンラインで開催しており、遠隔地のTOTOグループ社員も参加しました。これらの活動が、社員の意識醸成と参画のきっかけになり、さらにこのコンタクトの積み重ねが地域社会との共生につながっています。

みんなの想いを反映して

助成金額は、「お客様」に購入いただいた節水商品による節水効果、「株主様」の株主優待制度による寄付、「TOTOグループ社員」によるボランティア活動の参加人数を基に算出し、さらにTOTOがマッチングすることで決定しています。ステークホルダーの皆様の環境貢献へのかかわりが増すほど、「TOTO水環境基金」の助成金が増えていく仕組みです。



あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO



第18回 TOTO水環境基金 助成先団体募集のご案内

応募期間

2022年9月2日(金)～2022年10月18日(火)
(当日消印有効)

助成期間

国内 2023年4月1日～2026年3月31日
(最長)

海外 2023年4月1日～2024年3月31日

助成総額

2,760万円

国内 1件あたり上限 80万円/年×最長3年(最大240万円) **海外** 1件あたり上限なし(目安300万円程度)

TOTOグループは、水まわりを中心とした、豊かで快適な生活文化を創造することで、社会の発展に貢献する企業を目指しています。持続可能な社会の実現のためには、TOTOグループの果たすべき役割である節水技術の追求とともに地域の事情に精通し、地域を支える団体の活動が欠かせません。そこで、TOTOグループは 2005 年度に「TOTO水環境基金」を設立し、水にかかわる環境活動に継続して取り組む団体への支援を続けています。企業による一時的な物資や資金の支援だけではなく、団体を支援することで、持続的な発展を目指しています。